

授業概要

プラットフォームと言われるのは、略称で GAFAM と呼ばれる Google, Amazon, Facebook, Apple, Microsoft の米国系企業である。それぞれ情報技術を使った特色のあるビジネスにより、その影響力は大きく、プラットフォームを形成していることから、これらの企業のビジネスモデルをプラットフォームビジネスと呼んでいる。こうしたプラットフォームと言われるようになったのは、最近の話であり、共通点は、ITC（情報通信技術）を駆使して競争力のあるサービスを提供している。これらを学び日本経済にも影響があり、その良さを学ぶことは、意義にあることと考える。

授業計画

第 1 回	プラットフォームの意味と概要
第 2 回	プラットフォームの種類と主なプラットフォームの説明
第 3 回	プラットフォームの活用と課題
第 4 回	GAFAM の説明
第 5 回	AMAZON の分析と特徴
第 6 回	APPLE の分析と特徴
第 7 回	Google の分析と特徴
第 8 回	メタ (Facebook) の分析と特徴
第 9 回	MICROSOFT の分析と特徴
第 10 回	日本におけるプラットフォームビジネスー1
第 11 回	日本におけるプラットフォームビジネスー2
第 12 回	金融システムとプラットフォーム
第 13 回	産業別のプラットフォームを考える
第 14 回	Web3 によるプラットフォームの変化を考える
第 15 回	これまでの学習内容のまとめと筆記試験の説明
第 16 回	筆記試験の実施

到達目標

1. プラットフォームビジネスを十分に理解し、従来の企業形態と比較してその特徴を理解する。
2. プラットフォームビジネスのいくつかの種類と特徴を理解し、具体的な事例について理解することができる。

履修上の注意

特になし。

予習・復習

事前に予習を行う。
授業後に復習や課題、レポートを提出すること。

評価方法

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、
学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

テキスト

- 教科書名： 別途指示します。
- 著者名：
- 出版社名：
- 出版年 (ISBN)：